



第84期  
中間報告書

(平成31年3月1日から  
令和元年8月31日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

# 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

当社第84期上半期(第2四半期連結累計期間：平成31年3月1日から令和元年8月31日まで)を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申しあげます。

令和元年10月

取締役社長

岡谷 篤一



## 営業の概況

### ◆ 営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、堅調な米国経済を背景に底堅く推移しましたが、米中貿易摩擦に端を発した中国経済の減速や英国のEU離脱問題等の影響で先行き不透明感が強まりました。

日本経済は、製造業の生産活動が底堅く推移しましたが、輸出の伸び悩みや設備投資の環境変化等により、力強さを欠きました。

## 営業の概況

このような状況下にあって、当第2四半期連結累計期間における売上高は、4,441億88百万円で前年同期比2.9%の減収となりました。

損益につきましては、売上総利益が305億53百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益が95億36百万円（前年同期比5.2%減）、経常利益が120億95百万円（前年同期比0.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は85億34百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

中間配当金につきましては、1株あたり110円とし、支払開始日を10月31日とさせていただきます。

### ◆ 通期の見通し

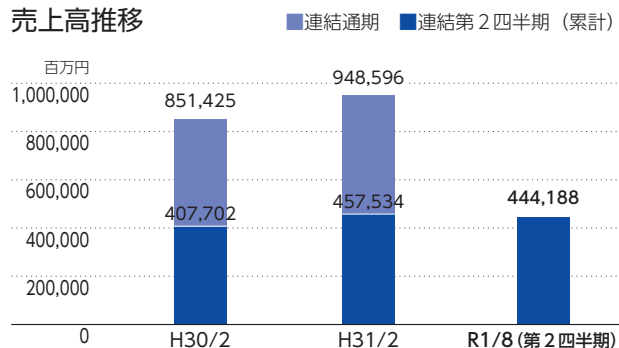
通期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、売上高は9,600億円を予想しております。

経常利益は260億円、親会社株主に帰属する当期純利益は180億円を予想しております。

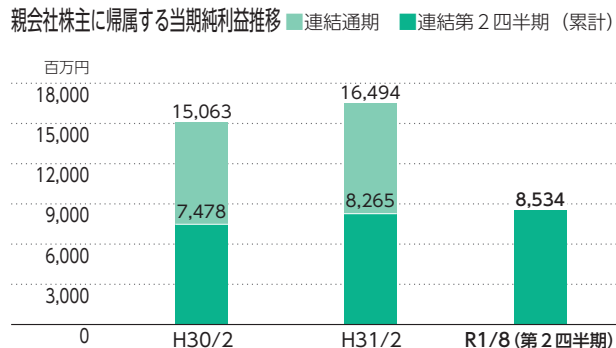
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 財務ハイライト

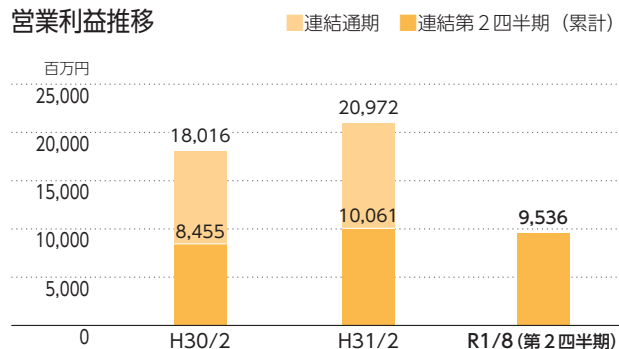
## 売上高推移



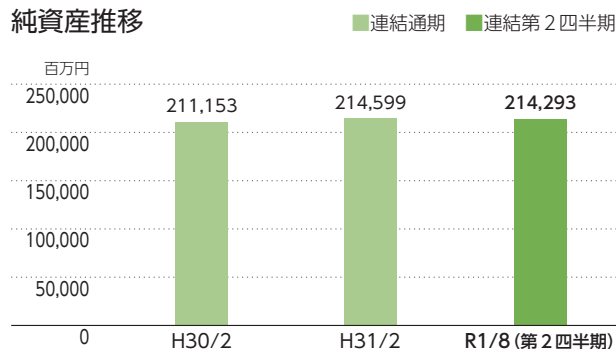
## 親会社株主に帰属する当期純利益推移



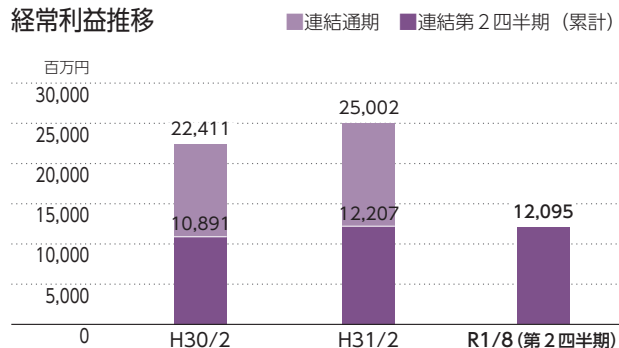
## 営業利益推移



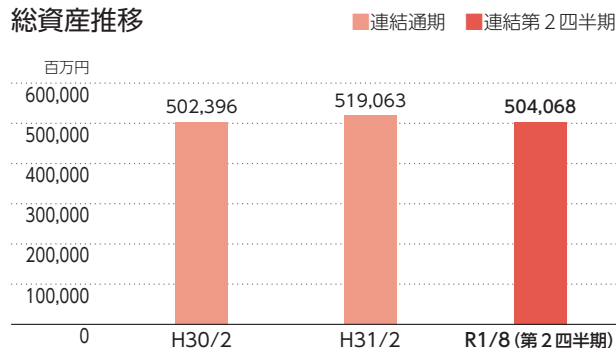
## 純資産推移



## 経常利益推移



## 総資産推移



(注) 会計基準変更に伴い、H31/2期の財政状態を一部遡及修正しております。

# トピックス

## 1. ミャンマーでの鉄骨図面作成会社設立

近藤鋼材株式会社と、ARIMA TECH CO., LTD. (ミャンマー国) との3社で、ミャンマー国ヤンゴン市において鉄骨図面作成を行う合弁会社「AOK MYANMAR CO., LTD.」を、平成31年2月に設立しました。鉄骨事業の更なる取引拡大を目指します。



## 2. 第39回日本医学会総会2019中部への協賛

24年ぶりに名古屋で開催された日本医学会総会のイベントの一つである「医学史展」に単独協賛しました。また、「健康未来EXPO2019内『本草学』ブース」に協賛しました。

## 3. 学校法人名古屋国際学園への寄付

国際教育の発展および地域活性化のため、中部地方最大のインターナショナルスクールを運営する学校法人名古屋国際学園（名古屋市守山区）の校舎増築に対し寄付を行いました。

## 4. 小学生サッカー大会冠協賛

本年より愛知県サッカー協会小学生男女サッカーの3大会へ、冠スポンサーとして支援を開始しました。スポーツ振興を通じて地域の活性化を目指します。

## 5. インド岡谷鋼機会社チェンナイ支店を開設

インド岡谷鋼機会社は、令和元年7月にチェンナイ支店を開設しました。自動車産業等ものづくりの集積地である南インド地区において、地域に密着した営業活動を行います。



## 6. 当社子会社による中国現地法人設立

岡谷エレクトロニクス株式会社は、令和元年9月に香港に現地法人を設立しました。専門性を活かした提案営業活動および技術サポートを行い、今後の取引拡大を目指します。

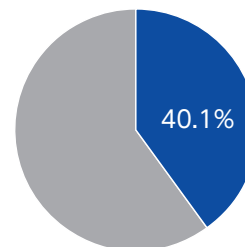
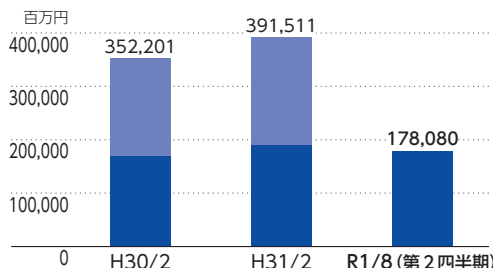
# セグメント情報

## 鉄 鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他

### 売上高推移



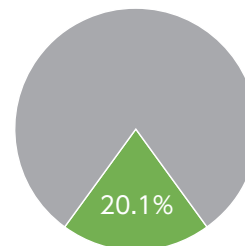
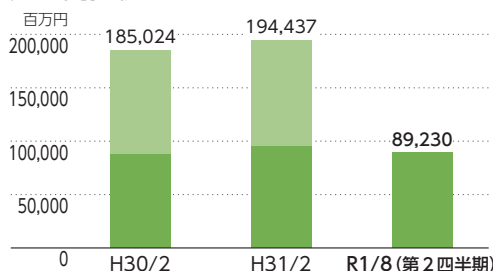
鉄鋼部門は、建材分野を中心に伸び悩み、減少しました。  
 特殊鋼部門は、中国・インド向け等の減少に加え、国内製造業向けが伸び悩みました。  
 海外は、市況の低迷に加え、輸出の伸び悩み等で北米及びアジア向けが減少しました。  
 鉄鋼セグメントの売上高は、1,780億80百万円（前年同期比6.2%減）となり、低調でした。

## 情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他

### 売上高推移



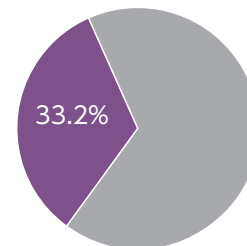
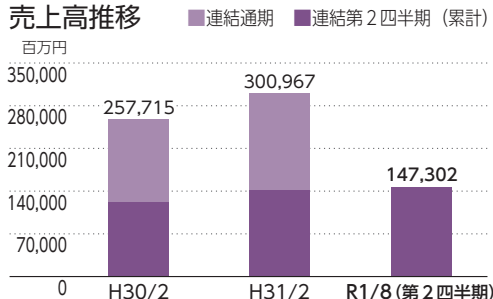
非鉄金属部門は、中国エアコンメーカー等の不調により減少しました。  
 エレクトロニクス部門は、自動車関連は底堅く推移しましたがFA関連が減少しました。  
 情報・電機セグメントの売上高は、892億30百万円（前年同期比7.0%減）となり、低調でした。

## 産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器、航空機部材、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品 他

### 売上高推移



化成品部門は、原材料価格は下落しましたが、自動車関連向けを中心に販売数量が微増でした。

メカトロ部門は、国内は航空機向け部材の増加に加え、省人化・自動化設備が順調でした。海外は、自動車関連等の設備が増加しました。

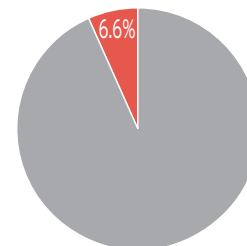
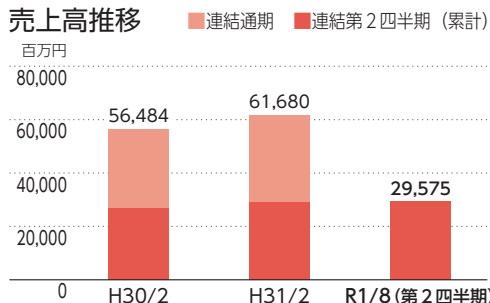
産業資材セグメントの売上高は、1,473億2百万円（前年同期比3.4%増）となり、堅調でした。

## 生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

### 売上高推移



配管建設部門は、エネルギー関連が伸び悩みましたが、配管機材類及び建築物の請負工事が増加しました。

食品部門は、輸入取引において鶏肉が減少し水産物が増加しました。

生活産業セグメントの売上高は、295億75百万円（前年同期比1.3%増）となり、堅調でした。

# 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (令和元年8月31日現在)	前連結会計年度 (平成31年2月28日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	322,559	328,756
固定資産	181,509	190,307
有形固定資産	37,884	38,118
無形固定資産	1,343	1,247
投資その他の資産	142,281	150,940
資産合計	504,068	519,063
<b>負債の部</b>		
流動負債	238,350	253,180
固定負債	51,424	51,283
負債合計	289,775	304,464
<b>純資産の部</b>		
株主資本	153,030	145,749
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	136,570	129,287
自己株式	△ 466	△ 465
その他の包括利益累計額	51,476	59,152
その他有価証券評価差額金	49,358	55,672
繰延ヘッジ損益	△ 110	△ 33
為替換算調整勘定	△ 470	493
退職給付に係る調整累計額	2,699	3,020
非支配株主持分	9,786	9,698
純資産合計	214,293	214,599
負債純資産合計	504,068	519,063

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成31年3月1日から 令和元年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成30年3月1日から 平成30年8月31日まで)
売上高	444,188	457,534
売上原価	413,635	426,572
売上総利益	30,553	30,962
販売費及び一般管理費	21,016	20,900
営業利益	9,536	10,061
営業外収益	3,812	3,560
営業外費用	1,253	1,415
経常利益	12,095	12,207
特別利益	136	12
特別損失	165	6
税金等調整前四半期純利益	12,066	12,212
法人税、住民税及び事業税	3,157	3,247
法人税等調整額	2	324
四半期純利益	8,905	8,641
非支配株主に帰属する四半期純利益	371	375
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,534	8,265

(注) 会計基準変更に伴い、H31/2期の財政状態を一部遡及修正しております。



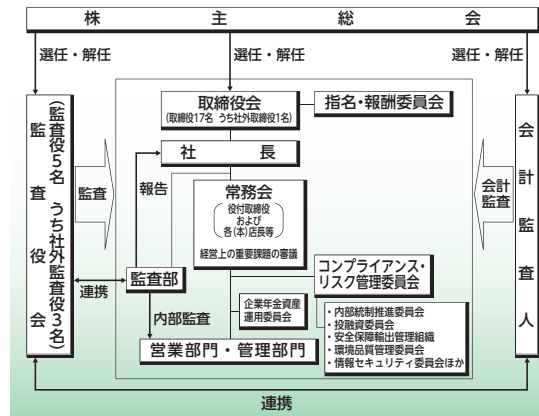
# 内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

## 1. 基本的な考え方

企業としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けており、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

## 2. 整備状況（詳細は当社ホームページをご参照ください。 <https://www.okaya.co.jp/>）

- ① 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑥ 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項、当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項
- ⑦ 当社および子会社の取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制、報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
- ⑧ その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制



# 利益配分に関する基本方針および株主優待について

## 1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

## 2. 株主優待

当第2四半期末（令和元年8月期）株主優待として、8月末保有株式数200株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ5kg》をお贈りします。

なお、当期末（令和2年2月期）保有株式数100株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ5kg》をお贈りします。

また、長期保有株主様向け優待として、半期毎（2月末および8月末）の株主名簿に同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件とし、当第2四半期末（令和元年8月期）保有株式数100株以上の株主様に《図書カード1,000円相当》を、当期末（令和2年2月期）保有株式数100株以上の株主様に《図書カード2,000円相当》をお贈りします。

転居などにより、株主優待品をお届けできない場合があります。  
確実にお届けするため、転居などによりご住所が変更となった株主様は、住所変更のお届出をお願いいたします。



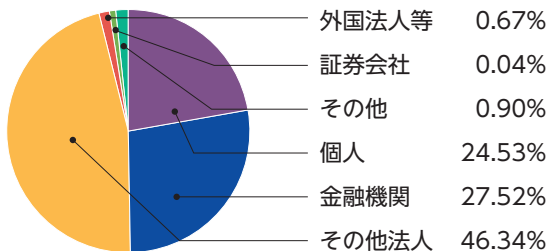
# 株式の状況 (令和元年8月31日現在)

## 株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	35,571,200株
発行済株式の総数	9,720,000株
株主数	3,588名

## 株式分布状況

### 所有者別割合



## 大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	1,214	12.60
岡谷篤一	482	5.00
株式会社三菱UFJ銀行	462	4.80
日本製鉄株式会社	424	4.40
三井住友信託銀行株式会社	402	4.17
株式会社りそな銀行	265	2.75
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	251	2.60
岡谷鋼機社員持株会	185	1.92
オークマ株式会社	163	1.69
公益財団法人真照会	138	1.44

- (注) 1. 持株比率は自己株式(86,650株)を控除して計算しております。  
 2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

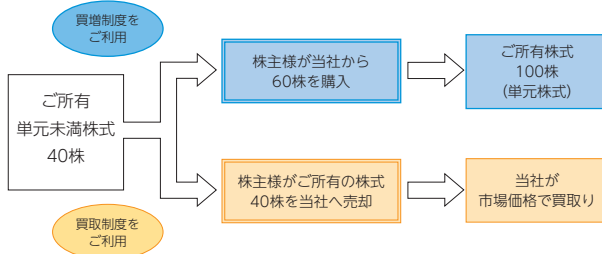
# 株式に関するお知らせ

## 単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または100株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

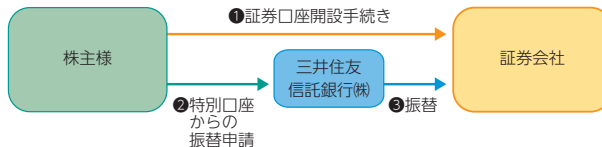
### 【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



## 特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座\*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座  
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

## 株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
 定時株主総会 5月  
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日  
 中間配当 8月31日  
 公告の方法 電子公告  
 ただし、電子公告によることができない  
 やむを得ない事由が生じたときは、日本  
 経済新聞に掲載いたします。

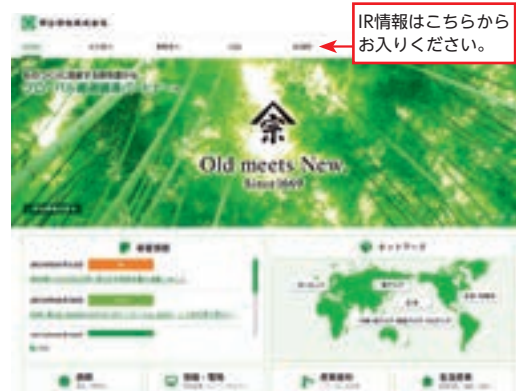
電子公告掲載ホームページアドレス

[https://www.okaya.co.jp/ir/public\\_notice/](https://www.okaya.co.jp/ir/public_notice/)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 連絡先 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の  
 全国本支店で行っております。

## ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信  
 等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載  
 しています。  
 是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス  
<https://www.okaya.co.jp/>

## 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>届出住所・姓名などのご変更</li> <li>配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	口座を開設されている 証券会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>特別口座から証券口座への振替請求</li> <li>届出住所・姓名などのご変更</li> <li>配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	

## 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて  
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分  
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告  
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封  
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社



見やすく読みまちがえにくい  
 ユニバーサルデザインフォント  
 を採用しています。



環境に配慮した  
 植物油インキを  
 使用しています。